

九重山の火山活動解説資料（平成 23 年 3 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、山体及び北西側の筋湯付近を震源とする地震が一時的に増加しましたが、その後減少しています。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 3 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 1、図 2）

噴煙活動は低調で、噴煙の高さは概ね 100m 以下（最高高度は 300m）で経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2）

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、山体及び北西側の筋湯付近を震源とする地震が一時的に増加しましたが、その後減少しています。

火山性地震の月回数は 14 回（2 月：4 回）と少ない状態で経過しました。また、震源決定された火山性地震はありませんでした。

火山性微動は 2006 年 10 月以降観測されていません。

・地殻変動の状況（図 3、図 4）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 九重山 噴煙の状況（3 月 14 日、上野遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 4 月分）は平成 23 年 5 月 10 日に発表する予定です。

※この資料は気象庁のほか、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

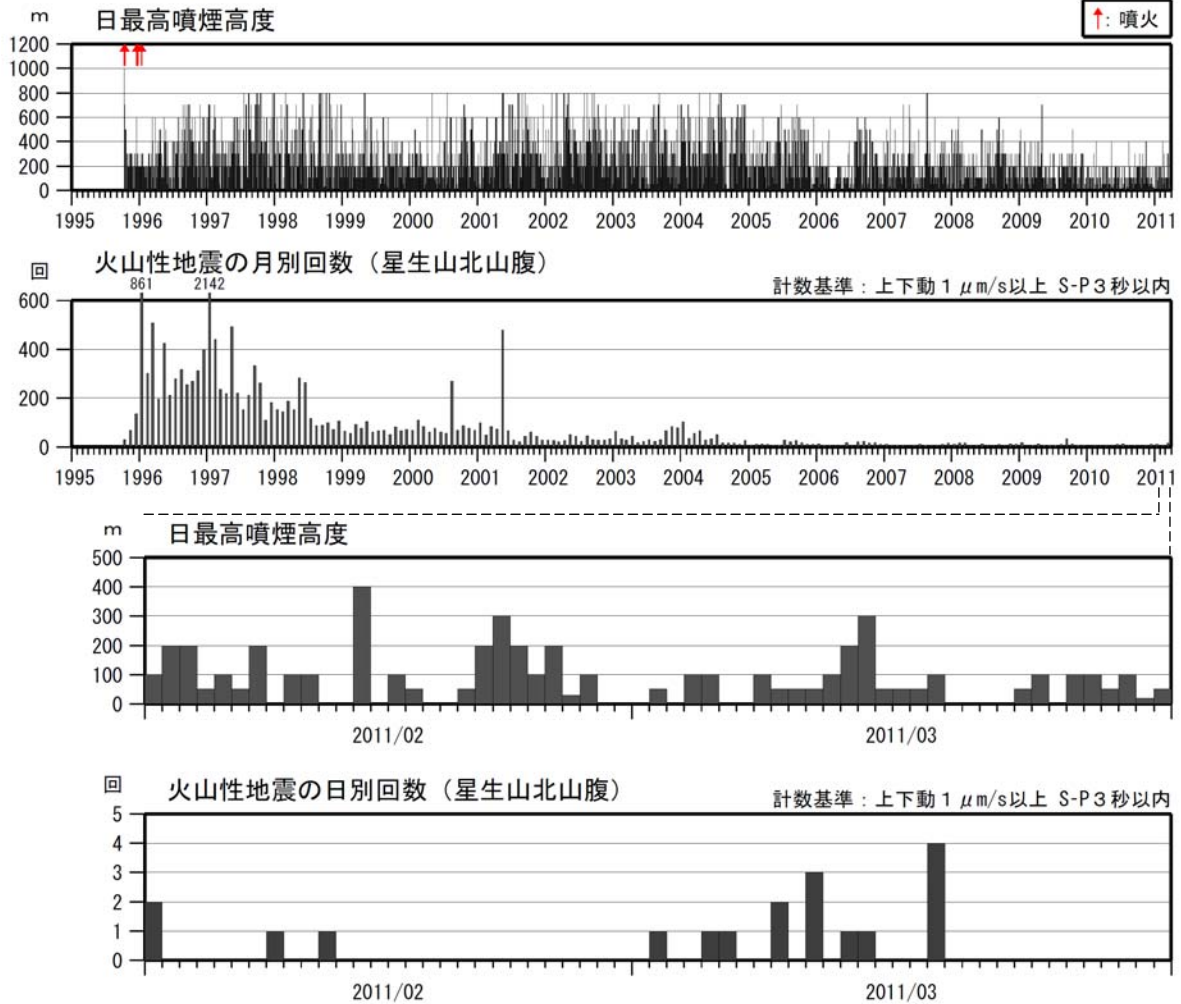


図 2 九重山 火山活動経過図（1995 年 10 月～2011 年 3 月）

< 3 月の状況 >

- ・噴煙の高さは概ね 100m 以下（最高高度は 300m）で経過しました。
- ・火山性地震の月回数は 14 回（2 月：4 回）と少ない状態で経過しました。

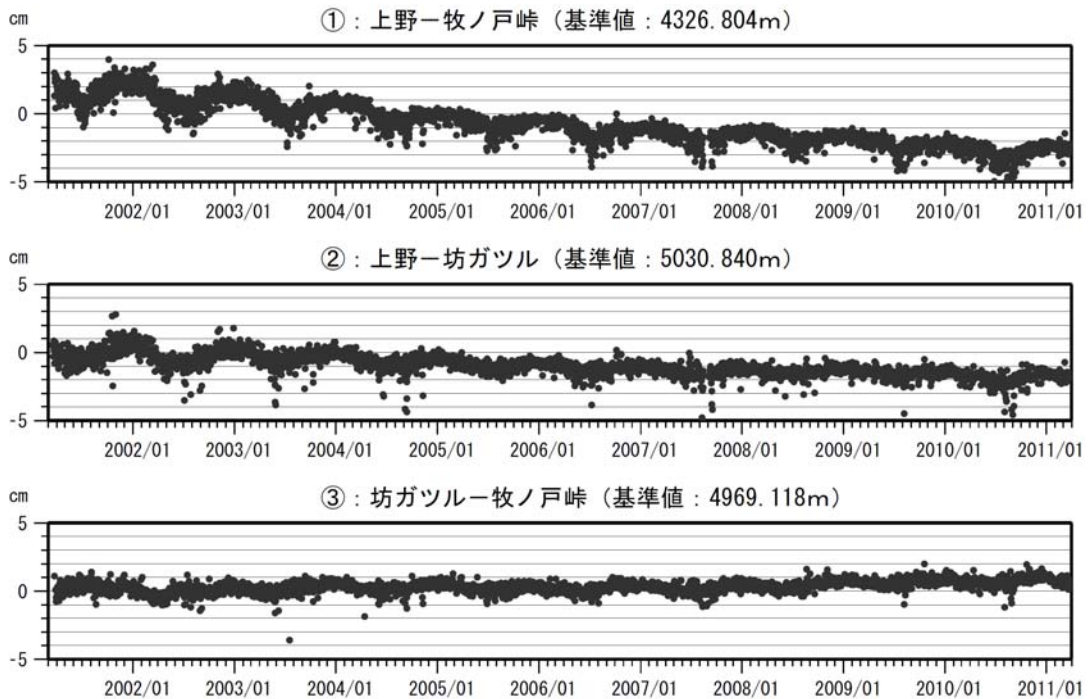


図 3 九重山 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 3 月～2011 年 3 月）

①、②の基線に長期的な縮みの傾向がみられていましたが、2008 年以降鈍化しています。
この基線は図 4 の①～③に対応しています。

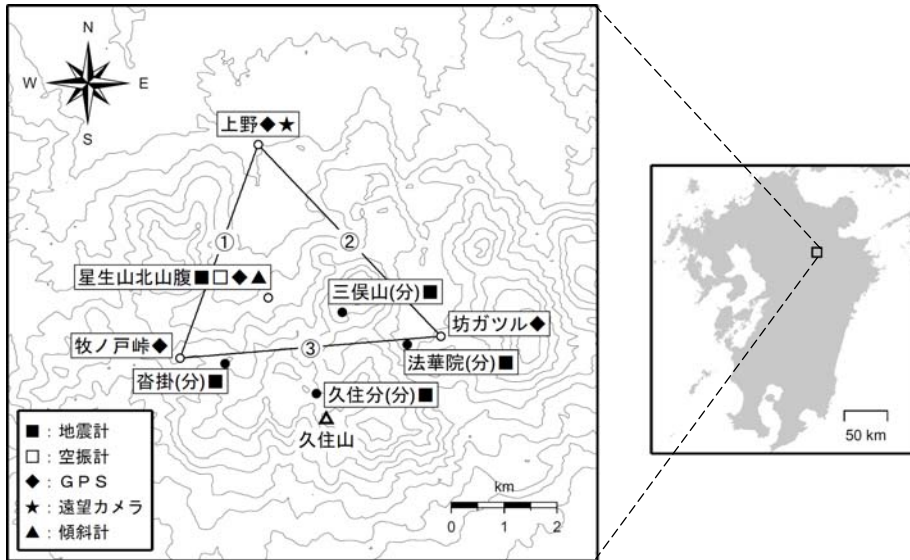


図 4 九重山 観測点配置図

小さな白丸は気象庁、小さな黒丸は大分県の観測点位置を示しています。